

歴史自覚 1

(や＝山田 学) [☆★☆歴史自覚★☆☆JOM ONあかでみいサイトの更新が、遅れに遅れ、たいへん失礼いたしました。

山田 学が、自宅転居し、予想以上に、多くの時間をとられたからです。

ヨガの沖 正弘師に対し、先輩弟子にあたる、やましたひでこ先生ではありませんが、わたしの人生においてもっとも大きな、本・資料・物品の断捨離も、いたしました。もともと、ものごとの整理が好きなわたしは、この断捨離にて、予想外の楽しさも、体験しました。

とくに、本と研究資料について、もともとそれらは、それなりに整理し、部屋のあちこちに置いてあつたのですが、今回、一気に整理し直してみると、それにとりまひ、自身のこの数十年の記憶も、しっかり整理される！

そこに、無上の楽しさも、ありました。転居先は、ある海浜ですが、日本と地球の大きな変化が予想される、これから数年間、その海を眺めつつ、わたしの活動の、選択と集中が、より鋭敏となります。

そしてわたしの内心にて、あるひろく深い自覚も、生成いたしました。

断捨離と転居の後半は、一種の苦行でもありました。この27年間半にためた、“ごみ”の処分が、予想をはるかに超えた、作業量であり

ました。“ごみ”の処分に関する、行政や一部民間の現在形についても、一定の体験をいたしました。

以下、山田 学の内心にての、あるひろく深い自覚から、発言させていただきます。

＊

せつかくのインターネットですが、かへつて、情報が混乱してある面も、あるかもしれません。

この数万年間、とくに、この数千年間、人間社会史は、どういふものであつたか。

そしてこれから、人間社会は、どうなるのか。あるいは、どうすべきものなのか。

〈悠久壮大な歴史自覚〉の、問題です。

この思索を整理するには、しかし、次の3つの注意点が、必要です。

①人間社会はそもそも、主体性の変化により、三重の構造である。この三重の区別と連関を、明確にしてこそ、思索を整理できる。

②今がまさに、人間社会史の大転換期であると、予想される。むしろ発想の大転換があつてこそ、思索を整理できる。

③地球人は実は、宇宙において、後進生物であるにすぎない。そのことについて、まもなく情報公開されると、予想される。人間社会による学問を超えた現象に、直面することも、織り込んでこそ、思索を整理できる。

①三重の構造について、解説します。

人間社会は、〈労働による生産→認識による表現→規範による調整〉といふ、主体性の変化

により、三重の構造である。

【い】人間社会は、まづ、生産の社会が、ある。労働による生産の社会、である。

【ろ】その生産の社会のうちに、認識表現の社会が、ある。認識による表現の社会、である。

【は】その認識表現の社会のうちに、規範の社会が、ある。規範による調整の社会、である。

【い】生産の社会は、16世紀以降に西欧人が主導した、近代化により、地球表面が統一されつつある。近代化は、生産のうちの〈交通〉(＝建築・運輸・金融・通信・提案)の発達であり、これにより、地球表面が統一されつつある。

が、【い】生産の社会の近代化にて、資産増殖欲を、駆動力とした。近年は、ICT(情報通信技術)のメガテックなどが、発達を牽引しはした。ので、世界経済フォーラムなどは、ICTや遺伝子工学などによる、機械的な地球統制に、その発想が、とらはれてある。これは、

【ろ】認識表現の社会を、無視するものである。【ろ】認識表現の社会史にて、〈諸民族性への分化と攻防〉は、必然であつた。ので、世界経済フォーラムなどに対抗し、〈諸民族の自立と協同〉への運動も、興りつつある。

【は】規範の社会は、それぞれ軍事を背景とした、諸国家が、攻防してある。が、【い】生産の社会にて、地球表面が統一されつつあるため、国際大企業が、国際機関などへの献金

を通し、諸国家全体をも統制せむ、といふ動きがある。

理想は、【は】規範の社会として、人民個人に帰り、からだところの健康、ところと社会の平和、合せて〈健康平和〉への道徳（生活規範）を、追求しあふことではないか。これにより、まづ、諸個人の自立と協同を、めざしあひたい。

やがてはやがては、【ろ】認識表現の社会にて、諸民族の自立と協同も、可能なのであらう。

【い】生産の社会も、地球表面統一への仕上げとしての、〈交通〉（とくに、提案）は、まうはや、資産増殖欲や、ICT・遺伝子工学などに、期待できない。

この意味にて、思索整理の注意点②発想の大転換が、必須である。

西欧人主導の近代から、われらが日本人主導の超近代へ!!! 発想の大転換が、必須である。

日本列島は、人間が生活しやすい自然環境に、ある。ので、〈一万年以上の、戦争を知らぬ、縄文時代〉、も成立した。これこそ、他民族には、ほとんど無い、平和性の記憶なのである。

〈諸民族調和へ仲介する道〉を、創造しやすいのである。とくに、子どもを産み育てる、本能において賢い、女性において。

実は、〈われらが日本民族発の超近代＝資産循環の時代〉、を創ることが、われらの歴史的な役割なのだ。

〈健康平和〉への道徳の基礎は、人民個人の、

おのおのが、四六時中、瞬間瞬間にて、自身の体内の生理を認識し、生理にしたがひつづけることです。そのやう、〈冥想しつつ生活する〉ことです。不断の生理への冥想こそ、だれもが悟り救はれる道なのです。実はこの数千年間、諸国家といふ規範が、この単純明快な基礎を、人民から失念させてきました。あらためて、この基礎に協力する、教養や体験や物品を、流通させる事業を興し発達させる。貧困な顧客のための寄付も、加味し、資産を循環させる。資産増殖欲や、ICT・遺伝子工学などへのとらはれから、^{けだつ}解脱する。かういふ、発想の大転換が、必須です。

〈悠久壮大な歴史自覚〉の大前提として、情報が公開されつつあります。

数千年来、金銀財宝などの移動（＝裏帳簿）により、世界史を調整してこられた、〈水面下の主体〉が、実在します。（カバールやディープステイトより、さらに深い主体です。）

実はその中心が、われらが日本民族のご皇統と、欧州ハプスブルグ家なのです……………

諸国家との関係にて、嚴重に封印されてきたこの事実も、今こそ公開すべしと、故・高松宮殿下らのご希望により、出版されつつあるのが、落合莞爾先生です。（『天皇とワンワールド』『天皇と黄金フェンド』『天皇皇統になりすましたユダヤ十支族』など）

思索整理の注意点③宇宙についての情報公開、については、多言しませんが、ラッセル・ヒルベルト・アインシュタインといふ、20世紀

初頭からの、数学的な物理学的な哲学の限界について、自覚せざるをえぬことは、必至です。

以上、山田 学の内心にての、あるひろく深い自覚からの、伝言でございます。]